

「生協10の基本ケア」①を通して、 くらしの安心ネットワークをひろげよう！

はじめに

姫路医療生協は1974年8月1日創立され、2024年8月1日に創立50周年を迎えます。2024年度は、法人として50周年記念事業を企画します。50周年記念事業を通じて、広く組合員・地域住民・他団体に姫路医療生協の事業と活動内容を発信し、多くの方にサービスをご利用いただくとともに、健康づくりや助け合い等の組合員活動への参加、法人内外との連携をひろげます。

2023年度は、共立病院の建て替えリニューアルの大事業をおこない、2023年12月18日に新病院を開院することができました。新病院の建設は、姫路医療生協としての悲願達成であり、新たなスタートとなります。多くの患者さんや組合員から「共立病院がとても快適になった」と喜ばれています。

私たちは、法人理念「その人らしく、気持ちよく生きる」の実現をめざし、高齢になっても、認知症になっても、障がいがあっても、住み慣れた地域・自



リニューアルオープンした
共立病院

宅でくらし続けられるまちづくりー地域包括ケア②を推進します。「生協10の基本ケア」を事業経営・育成・組合員活動に生かし、くらしの安心ネットワークをひろげます。

引き続き、SDGs（持続可能な開発目標）の視点で様々な社会問題にアプローチし、「誰一人取り残さない社会」の実現をめざして行動します。

生協10の基本ケア

ふだんのくらし、そのままに。

生協がたいせつにしている介護

- その1 尊厳を護る
- その2 自立を支援
- その3 在宅を支援

1 換気をする



2 床に足をつけて座る



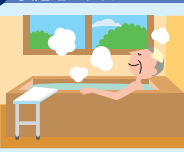
3 トイレに座る



4 あたたかい食事をする



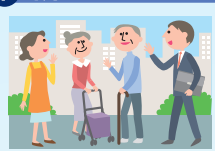
5 家庭浴に入る



6 座って会話をする



7 町内におでかけをする



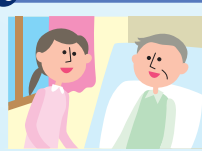
8 夢中になれることをする



9 ケア会議をする



10 ターミナルケアをする



2024年度 通常総代会の公告

《日時》
2024年6月20日(木)
午後2時～4時30分

《会場》
イーグレひめじ
あいめっせホール
(3階)



2024年度のすすめかた

1 介護と医療の連携強化・一体的サービス提供で、利用者を在宅で支えます

- ① **尊厳を護り、自立支援をすすめ、在宅の限界点を高めます。**
 - 「生協10の基本ケア」の実践でケアの質の向上をはかり、利用者増につなげます。
 - 医療事業は、「かかりつけ医」機能と訪問診療、介護・医療連携を重視し、患者が早期に「生活」の場に戻れるしくみづくりと実践をすすめます。
 - 医師対策を強化し、常勤医師を確保します。
 - 介護事業は、赤字事業所の統廃合含めた事業の再構築・経営改善をはかります。リハビリ・口腔・栄養の一体的提供をすすめます。
 - 2024年度の事業収益は●●億円（前年比●●%）、経常利益は●●万円（経常利益率●●%）を実現します。
 - 行政や他団体との“顔の見える関係づくり”をさらに強めます。
 - 2024年度診療報酬・介護報酬改定、第9期介護保険事業計画対応を着実にすすめます。

- ② **事業・組織の再構築をすすめ、経営改善をすすめます**
 - 2024年4月1日 福祉用具レンタルなどを福祉用具レンタル共立に統合
 - 7月1日 ショートステイつどいの事業閉鎖
 - 8月 共立病院デイケア リニューアルオープン（予定）

- キャリアパスの構築、週休2日制の導入、職員の処遇改善、給与体系の見直しをすすめ、人財確保・離職防止をはかります。
- 営業活動と広報活動を強化します。ICT（情報通信技術）の利活用水準をさらに引き上げます。引き続きコンプライアンスを重視します。



ケアのあり方を考える実践交流会

2 地域組合員と職員組合員がともに学び、協同をひろげます

- ① 「生協10の基本ケア」を組合員と職員の“合言葉”に協同をひろげます

- 「生協10の基本ケア」を学び、実践を通して「姫路医療生協ブランドのケア」の確立をめざします。
- 組合員と職員による「生協10の基本ケア」ミニ交流会をエリアごとに開催し、セルフケアの考え方をひろげます。
- 介護・医療・支え合いの一体的提供（生協の特徴を生かしたサービス提供）をすすめます。



まちかど健康チェック

- ② **教育体系を見直し、人財確保・育成を強化します**
 - 「生協10の基本ケア」は、職員研修に組み込むとともに、トレーナーの育成を計画的にすすめます。

- 2023年4月からスタートした新入職員研修、および介護事業所の新入職員教育チェックリストの定着をはかります。
- リーダー育成研修、職員研修を推進します。職員のを引き出すマネジメント、多様な価値観を尊重する「心理的安全性」を重視します。
- “離職者を出さない” “子育て世代が働き続けられる” 職場づくりをすすめます。

- ③ **組合員と職員がともに学び、協同をひろげます**
 - 生協学校を開催します。通信教育の活用をはかります。
 - イチ押し班会メニューを充実させ、活用をひろげます。
 - 兵庫民医連学術運動交流会での演題発表を重視します。

3 「楽しく、おいしく、オシャレ」な多彩な活動を地域にひろげます

- ① ゆるやかなつながりづくりと社会参加を大切に、“暮らしの安心ネットワーク”をひろげます

- 多彩なイベントや健康づくり、ボランティア活動をひろげます。
- まちかど健康チェックや健康講座、フレイル・オーラルフレイル予防、サークル活動、生協マルシェ、フードドライブ、ポッチャなどを地域にひろげます。
- 認知症カフェをひろげ、認知症になっても安心して暮らし続けられるまちづくりをすすめます。
- 事業利用委員会は、キラリハートやイベント開催、75歳以上の組合員のつながりづくり等を重視します。
- ニュースひめじ、支部ニュース、ホームページ、SNSの活用等で情報発信力を強化します。若い世代にも医療生協をアピールします。
- 組合員一人ひとりの「活躍の場」をつくる視点で、ニュース配布やボランティア活動など「できることから手伝ってもらおう」ことで担い手づくりにつなげます。
- 職員の班会や健康講座への積極的参画をはかります。
- 仲間ふやし1,000名、出資金ふやし5,000万円をめざします。
- 全事業所が組合員利用率50%以上を実現します。各事業所は日常的な組合員ふやしにとりくみ、組合員利用率アップをはかります。

- ② **持続可能な社会・平和な社会をめざします**
 - 憲法9条を守り、平和な社会をめざします。
 - 社会保障の拡充、環境を守るとりくみを推進します。

- 原発ゼロの実現、再生可能エネルギーへの転換をめざします。
- 署名活動や学習会・平和ツアー等のイベント、平和行進、自治体訪問にとりくみます。
- 自然災害への備えと各事業所のBCP（事業継続計画）を重視します。



生協マルシェ

《語句の解説》

- ① **生協10の基本ケア**
「尊厳を護る」「自立を支援」「在宅生活を支援」を大切に生協ブランドの“ケアの基本理念”
- ② **地域包括ケア**
医療、介護、生活支援・介護予防、住まいが地域の中で包括的に確保されるという考え方。誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるまちづくり

- ③ **かかりつけ医**
医療・健康のことなら何でも相談できる身近な医師
- ④ **コンプライアンス**
法令遵守、および社会規範を守ること
- ⑤ **キャリアパス**
人財育成をすすめるために、仕事における道筋を示したもの
- ⑥ **心理的安全性**
誰もが安心して発言や行動ができる組織の環境を指します。心理的安全性を育む因子として「話しやすさ」「助

- け合い」「挑戦」「新奇歓迎」を重視します。
- ⑦ **e-ラーニング**
インターネット・動画を活用した学習
- ⑧ **オーラルフレイル予防**
口腔機能の低下を予防する取り組み。健康寿命の延伸に大きく寄与します。
- ⑨ **生協マルシェ**
マルシェはフランス語で「市場」を意味します。“通い”と“つながり”の場としての楽しいイベント

- ⑩ **フードドライブ**
食品ロスをなくすために、余った食品を必要な人に届けるとりくみ
- ⑪ **ポッチャ**
老若男女、障がいのあるなしにかかわらず、すべての人が一緒に、そして競い合えるスポーツ
- ⑫ **キラリハート**
利用者様に喜ばれたイチ押し事例を各事業所がまとめ、組合員・職員の確信にし、ひろげるとりくみ

2023年度のまとめ

1

介護と医療の連携強化・一体的サービス提供で、利用者を在宅で支える

①2023年度の事業展開をすすめました

- 2023年4月 白鷺・琴陵地域包括支援センター受託開設
- 2023年12月 共立病院建て替えリニューアルオープン
※地域包括ケア病床48床、建築投資額：約16億円（税込）
差額ベッド料なし
- 2024年1月 相談支援事業所てがらの廃止

②多職種連携・自立支援をすすめ、在宅の限界点を高めました

- 医療事業は「かかりつけ医」^③機能と訪問診療を重視し、患者確保をすすめました。常勤医師の確保は今後の課題です。
- 介護事業は、新規事業の白鷺・琴陵地域包括支援センターの経営活動を軌道に乗せました。また、統廃合を含めた事業の再構築の検討をすすめました。
- 2023年度の事業収益は●●億円（予算比●●%、前年比●●%）、経常利益●●万円（経常利益率●●%）です。
- 行政や他団体との“顔の見える関係づくり”を強めました。2024年度の診療報酬・介護報酬改定対応の準備をすすめました。

③組織再構築で健全経営の実現をめざしました

- 2023年4月から介護事業の統括責任者の専任化、介護事業部の体制強化と役割の見直し、総務部のもとに人事課の設置（人財確保・育成・評価制度）の本格的運用に着手しました。人財確保につながる給与体系の見直しの具体化を検討しました。
- 営業活動と広報活動を重視しました。ICT（情報通信技術）の利活用水準の引き上げ、コンプライアンス^④を重視した運営をおこないました。

2

地域組合員と職員組合員がともに学び、育ち合う人づくり

①「生協10の基本ケア」を導入し、実践がはじまりました

- 「生協10の基本ケア」学習会を職場や地域で開催しました。12月には、6つのモデル事業所を設定し、生協10の基本ケアの実践に必要なテーブルや椅子を購入しました。
- 「生協10の基本ケア」公開講座や理事研修会で、組合員と職員がともに学び、「生協10の基本ケア」を“合言葉”として共有しました。

②教育体系を見直し、人財確保・育成を強化しました

- 2023年4月からOJT（職場内研修）に活かせる内容に改定した新入職員基礎研修、介護事業所の新入職員教育チェックリストの本格的運用を開始しました。
- 管理者研修を開催し67名が受講しました。キャリアパス^⑤構築の具体化をすすめました。
- 各職場で、働きやすい職場づくりを重視しました。「心理的安全性」^⑥のある職場づくりの学習会や具体化は今

後の課題です。

③組合員と職員がともに学び、協同をひろげます

- 7月に「ケアのあり方を考える実践交流会」を開催し、135名の組合員・職員が参加しました。
- イチ押し班会メニューを充実させ、活用をひろげました。
- 通信教育（組合員30名、職員72名が受講）やe-ラーニング^⑦の活用をはかりました。

3

誰もが健康で居心地よく くらせるまちづくり

①ゆるやかなつながりと社会参加を大切にし、“くらしの安心ネットワーク”をひろげました

- 健康づくり、フレイル・オーラルフレイル予防^⑧、サークル活動、生協マルシェ^⑨、フードドライブ^⑩などを地域にひろげ、新たにポッチャ^⑪にとりくみました。ひょうごまるごと健康チャレンジや禁煙ポスターコンクールを実施しました。
- コロナ禍で中断していた「まちかど健康チェック」や食事を再開しました。
- 支部と事業所が協同して、75歳以上組合員訪問活動が始まりました。今後も、つながりづくりと事業所利用をひろげます。
- 事業利用委員会は、「キラリハート」^⑫のとりにくみを重視するとともに、マルシェなどの“ともにつくる”イベントを企画しました。



ポッチャ

②共立病院建て替えリニューアル成功を目指した“1億円増資大運動”にとりくみました

- 新病院開院まで組合員と職員による新病院建設委員会を毎月開催し、広報活動の強化や生協マルシェでのアピール、建設現場見学ツアーなどの活動をすすめました。
- 仲間ふやしは●●名（純増●●名）、出資金ふやしは●●万円（純増●●万円）の到達です。事業所の平均組合員利用率は50%目標を達成しました。

③持続可能な社会・平和な社会をめざす活動をすすめました

- 原水爆禁止世界大会への代表派遣をはじめ、署名活動や学習会、平和行進、自治体訪問等にとりくみました。
- 「能登半島地震」災害支援募金にとりくみました。



福祉介護センターおおつ 夏祭り